

南ア月報
(2022年6月)

【内政】

- フレイザー元国家安全保障庁長官による告発
- 新型コロナウイルス対応等に係る規制の廃止

【外政】

- BRICS 首脳会合
- ラマポーザ大統領の G7 サミット出席及び日・南ア首脳会談

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- GDP 成長率

<出来事>

- アクロ・シャーマ COP26 議長の南ア訪問
- Eskom 労働者によるストライキとステージ6の計画停電
- 50歳以上の人々に追加ブースター接種を実施
- 南ア医療製品規制庁 (SAHPRA) が COVID-19 ワクチン CoronaVac を登録
- 世界銀行、南アの COVID-19 ワクチンプログラムに約 80 億ランドの低金利ローンを承認

【警備】

- 南ア治安情勢 (南ア国内旅先での犯罪対策)

1 内政

●フレイザー元国家安全保障庁長官による告発

1日、フレイザー元国家安全保障庁長官は、組織犯罪防止法違反でラマポーザ大統領を告発した。

●新型コロナウイルス対応等に係る規制の廃止

22日、南ア保健省は、2022年5月5日より施行していた新型コロナウイルス対応等に係る限定的な規制（屋内でのマスク着用義務、集会の規制、南ア入国に係る規制）について、廃止する旨を発表した。

2 外政

●BRICS 首脳会合

23日～24日、ラマポーザ大統領はオンライン開催された第14回 BRICS 首脳会合及び「グローバル発展に関するハイレベル対話」に参加した。同首脳会合では、BRICS 加盟国間の協力深化、多国間主義の堅持、世界経済の回復、将来的な感染症発生への対策、人的交流などが議論され、「第14回 BRICS 首脳会合北京宣言」が採択された。

●ラマポーザ大統領の G7 サミット出席及び日・南ア首脳会談

26日～27日、ラマポーザ大統領は、ドイツ・エルマウにて開催された G7 サミットに招待国として参加した。また、同サミットにおいて、日・南ア首脳会談が実施された。同会談の概要については外務省ホームページ参照。

リンク：https://www.mofa.go.jp/mofaj/af2/za/page3_003354.html

3 経済

<経済指標>

●消費者物価

2022年5月の年間消費者物価インフレーション率は6.5%で前月(5.9%)に比べ0.6%上昇した。消費者物価指数(CPI)は前月から0.7%上昇した。(南ア統計局、6月22日)

●為替レート

2022年6月30日付(南ア準備銀行)

8.3819 ランド/円

16.2511 ランド/米ドル

16.9653 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2022年4月の製造業は、前年同月比7.8%減。主なマイナス要因は、自動車及び輸送機器関連製品で28.6%減。石油、化学製品、ゴム及びプラスチック製品で10.3%減。食料品及び飲料で3.7%減。鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で4.4%減。

また過去3ヶ月(2022年2月～2022年4月)の季節調節後生産高は2021年11月～2022年1月の3ヶ月から0.9%減。製造業10部門中の7つの部門で生産高減となった。(南ア統計局、6月9日)

●鉱業生産高

2022年4月の鉱業生産高は、前年同月比14.9%減。主なマイナス要因は、白金で22.6%減、石炭で14.7%減、金で27.8%減、マンガン鉱石で10.4%減。

また過去3ヵ月（2022年2月～2022年4月）の季節調節後生産高は2021年11月～2022年1月の3ヶ月から3.2%減となった。（南ア統計局、6月9日）

●GDP成長率

南ア統計局は、2022年第1四半期（1月～3月）のGDP成長率を発表。2021年第4四半期との前期比プラス1.9%となった。統計局によると、2022年第1四半期の南ア経済は予測されていたよりも好調で、経済規模は新型コロナウイルスパンデミック以前、2018年時点の水準にまで回復した。（南ア統計局、6月7日）

なお、4月のクワズールー・ナタール（KZN）州大雨・洪水被害、拡大した計画停電、ロシアによるウクライナ侵攻の影響及び政策金利引き上げの影響は、第2四半期GDP成長率に影響を与えるとの見方が多い。

<出来事>

●アクロ・シャーマ COP26 議長への南ア訪問

アクロ・シャーマ（Alok Sharma）COP26議長（英国内閣府大臣）は、昨年のCOP26で発表された南アの「公正な移行を支援するパートナーシップ（Just Energy Transition Partnership（JETP）」の実施を支援するため、6月19日から21日まで南アを訪問した。シャーマ議長は、21日に南ア閣僚8人の代表団と会談し、進捗状況を振り返り、融資メカニズムや南アが準備している投資計画について議論した。

JETP投資計画（Investment Plan）は、11月にエジプトで行われるCOP27気候交渉での署名に向けて10月には完成する予定となっている。英国は、南アのJETPを支援するための新たな技術支援とパートナーシップのために、2940万ランドの資金提供を発表した。

●Eskom労働者によるストライキとステージ6の計画停電

6月21日のEskomとNUMSA（南アフリカ金属労働者組合）の賃金交渉の行き詰まりを受けて、Eskomの数千人の従業員がストライキに踏み切った。Eskomの労働者は、15%の賃上げ、住宅手当の1600ランド増額等を要求（当館注：電力は必要不可欠なサービスであるため、労働争議は許可されていない。ストライキに参加した労働者は法による保護を受けないため、解雇に直面する可能性がある）。

6月28日、ド・レイタ（De Ruyter）Eskom CEOは、違法ストライキが一晩で激化し、ステージ6の計画停電（Load-Shedding）に備えなければならないと警告し、その後ステージ6の計画停電を実施。ステージ6の計画停電がもたらす経済的影響は一日40億ランドという報道がある。

●50歳以上の人々に追加ブースター接種を実施

保健省は、50歳以上の人々のためのワクチン接種スケジュールを更新し、この年齢層に該当する全ての人々は、6月6日から、ファイザーワクチンの追加ブースターを受

けられることとなった。この追加ブースターは、前回のファイザー社製またはジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）社製の COVID-19 ワクチン接種から 120 日以上または 4 か月以上経過した、この年齢層の全ての者が対象となる。

●南ア医療製品規制庁（SAHPRA）が COVID-19 ワクチン CoronaVac を登録

SAHPRA は、6 月 14 日、COVID-19 ワクチン「CoronaVac」を条件付きで登録した。この登録は、医療品及び関連物質法（1965 年法第 101 号）第 15 条（6a）に基づき行われた。（当館注：中国シノバック社の CoronaVac は、2021 年 7 月 2 日に、特定の目的での未登録の医薬品及び医療機器等の使用に関する法的枠組みであるセクション 21 で承認されていた。）

●世界銀行、南アの COVID-19 ワクチンプログラムに約 80 億ランドの低金利ローンを承認

世界銀行は、南アのワクチン購入資金として 4 億 5440 万ユーロ（約 76 億ランド）の低金利ローンを承認した。南ア政府は、ワクチン調達の資金援助を求めていた。この融資は今後、同国が 4700 万回分の COVID-19 ワクチンを購入するための資金として適及的に使用されることになる。

4 警備

●南ア治安情勢（南ア国内旅先での犯罪対策）

南ア国内の旅先で、邦人が犯罪被害に巻き込まれたケース下記 2 件が発生した。

- ① 長距離バスの終着点であるヨハネスブルグ・パークステーションのバスターミナル付近で、迎えの車を待っていた邦人 2 名が、5～6 名の男に囲まれ、手に持っていたスマートフォンや鞆を強奪された強盗事件。
- ② 邦人が、ケープタウンの人気喫茶店を訪れ、パーキングチケット製の駐車スペースに駐車をしようとしたところ、喫茶店の店員と誤認する出で立ちの男に、駐車チケット代の支払先として別の場所に誘導され、案内通り ATM 機にカードを挿入し暗証番号を入力したところ、カードが ATM 機に取り込まれ、後に不正出金された詐欺・窃盗事件。

不慣れな旅先においては、住まい周辺とは異なる治安情勢にあることを念頭に、できるだけ旅先の情報を事前収集の上、平素よりさらに警戒を高めることが肝要である。